

A 病院救命救急センターにおける遺族ケアの課題と今後の展望

研究協力をお願い

看護部では「A 病院救命救急センターにおける遺族ケアの課題と今後の展望」という研究を学校法人日本医科大学中央倫理委員会の承認および研究機関の長（学長：弦間昭彦）の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して行います。研究目的や研究方法は以下のとおりです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施します。

皆様方には研究の趣旨をご理解いただき、この研究へのご協力をお願いします。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問などは下記の問い合わせ先へご連絡ください。

1. 研究の対象

2024 年 7 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までに日本医科大学多摩永山病院救命救急センターでお亡くなりになった患者さんとそのご家族の方。

2. 研究の目的

この研究の目的は、A 病院救命救急センターにおいて看護師が行っている遺族ケアの取り組みを振り返り、現在行っている遺族ケアの課題を明らかにし、今後どのように発展させていくかを検討することです。

3. 研究の方法

この研究は日本医科大学多摩永山病院で実施する研究で、研究責任者および研究事務局は日本医科大学多摩永山病院看護部佐藤遥です。

2024 年 7 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までに日本医科大学多摩永山病院救命救急センターでお亡くなりになった患者さんとそのご家族を対象として、ご逝去後にご家族へお送りしたお見舞いの手紙について、ご連絡やご相談をいただいた場合には、その内容をもとに、ご家族がどのような支援を必要とされていたのかを整理・検討します。また、ご連絡やご相談をいただいたご家族の属性や相談方法、内容などから、取り組みの課題について検討します。

そして、現在の遺族ケアの取り組みでは対象外となってしまう、患者さんとそのご家族に対する遺族ケアの介入方法についても検討を行います。

研究実施期間は実施許可日から 2026 年 12 月 31 日までです。

この研究は、外部機関との利益相反はありません。

4. 研究に用いる試料・情報

この研究は、患者さんとそのご家族の以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、入院理由や退院までの経過、入院日数、家族の続柄、相談内容など

利用を開始する予定日：実施許可日

情報の取得の方法：研究目的でない診療の過程で取得

作成日 : 2026 年 4 月 10 日

この研究に関する情報は、容易に個人を特定できないように記号化した番号により管理され、情報をパスワードのかかったインターネットに接続されていないパーソナルコンピュータに保管し、個人情報個人が特定できる形で使用することはありません。

また、ご家族から、研究を継続されることについて同意の撤回がなされた場合は、個人情報は速やかに廃棄し、この研究に用いることはありません。また、研究結果の報告、発表に関して、個人を特定される形では公表しません。

5. 問い合わせ先窓口

この研究に関するご質問などがありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の対象者(死亡された患者さんの診療情報およびそのご遺族の反応等の情報)について、個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

また、情報が研究に用いられることについて、ご家族またはご家族の代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんやそのご家族に不利益が生じることはありません。

日本医科大学多摩永山病院 看護部 佐藤遥

〒206-8512 東京都多摩市永山 1-7-1

電話番号 : 042-371-2111 (代表) 内線 : 2246

メールアドレス : haruka-satoh@nms.ac.jp